

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	たんぽぽ学園			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日 ~ 令和7年2月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	35
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日 ~ 令和7年2月21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)	22
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月3日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭への般化を目指して家族支援を行っている	定期的に保護者が療育に参加する機会を設け、親子で成功体験が積めるようお子さんとの関り方について職員が具体的にアドバイスしている。また、必要に応じて家庭訪問での支援やオンラインでの支援も行っている。	今後も療育参加日の内容を検討し、より良い親子関係が築けるよう支援していく。また、保護者が相談しやすい関係づくりする。
2	一人一人に合わせた個別支援計画に基づいて支援している	児発管とクラス担任とが共有して支援計画作成会議を行っている。また、達成時期に限らず、達成となった場合にはPDCAサイクルに基づき目標の再検討を行いステップアップを目指している。	お子さん一人一人に合わせた支援を共有するとともに職員の質の向上を図っていきます。
3	設備や環境が整っている	お子さんの特性に合わせ分かりやすい環境設定や過ごしやすい環境整備を行っている。園庭は十分な広さがあり、インクルーシブ遊具を設置している。また、各クラスには感覚器具が取り付けられる。	お子さんが安全に楽しく過ごせるよう環境設定を工夫していく。また、お子さんに合った教材や玩具が提供できるよう検討していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの状態に対しての職員配置について	配置基準は満たしているが年度途中で退職された職員や育児休暇を取得していた職員がいた。	途中退職職員が出た場合、必要に応じて職員の補充を検討する
2	きょうだい同士の交流の機会が設けられていっていない	保護者からのきょうだいについての相談には対応しているが、その他のきょうだい支援については行えていない。	きょうだい支援のニーズを把握し、行事などきょうだいが参加できる機会を検討する。
3			